



®環境省
エコアクション21
認証番号0010767

2024年度

(2023年10月～2024年9月)

環境経営レポート

発行日：2024年11月20日



東北警備保障株式会社

〒992-0119 山形県米沢市アルカディア1丁目808番地17

TEL0238-29-0005 FAX0238-29-0015

<http://www.next-alert.co.jp>



～ 目 次 ～

1. 環境経営方針	p1
2. 組織の概要	p2
2-1. 事業者名及び代表者氏名	
2-2. 所在地	
2-3. 環境管理責任者及び担当者連絡先	
2-4. 設立年月日	
2-5. 資本金	
2-6. 事業活動の内容と対象サイト（認証・登録範囲）	
2-7. エコアクション21実施体制	
2-8. 事業の規模	
3. 環境経営目標とその実績	p3～10
3-1. 環境負荷の現状（2024年度環境負荷自己チェック結果より）	
3-2. 環境経営目標（単年度・中期）と達成状況	
4. 環境経営計画と取組結果並びに次年度の取組内容	p10～11
4-1. 環境経営計画の取組状況の評価	
4-2. 次年度の取組内容	
5. 環境関連法規等の順守状況，訴訟等の有無	p12
5-1. 適用を受ける環境関連法規等とその順守状況	
5-2. 訴訟等の有無	
6. 代表者による全体の評価と見直し・指示の結果	p12



かねたん 米沢市マスコット
キャラクター

米沢市は、上杉家家臣で文武兼備の智将として名高い直江兼続（なおえかねつぐ）ゆかりの地です。



私たちは、SDGsとの関連性を強く意識してEA21の取組を推進していきます。



東北警備保障株式会社

環境経営方針

<基本理念>

東北警備保障株式会社は、警備業務、施設管理、清掃業務等の事業活動を行っていますが、その過程において、化石燃料や電力などのエネルギーを消費し、廃棄物の発生も伴います。環境関連法規等を順守しつつ、それらの環境負荷を楽しく低減できるしくみを構築運用しながら、さらに、それを地域全体に広めてまいります。たとえ自らの取組の成果は小さくても、その活動が連鎖的に広まっていけば、やがて大きな削減効果へとつながっていくものと確信しています。

私たちは、暮らしの安全・安心を担う企業として、地域の環境保全が重要な経営課題であることを認識し、次世代に美しい自然を残せるよう、企業の社会的責任を果たしていきます。

<行動指針>

- § 地球温暖化防止のため、楽しい節電・省エネの取組を考え、実行します。
- § お客様の環境負荷の削減につながる取組を提案し、実践します。
- § 環境と安全に配慮した運転を心がけます。
- § 環境関連法規等を順守します。
- § 社内の整理整頓を心がけ、身近な環境保全を見失わないようにします。
- § 様々な環境情報を発信し、お客様との共有化を図ります。
- § SDGs（持続可能な開発のための2030アジェンダ）を意識しつつ、環境問題を幅広く捉えて、行動していきます。
- § 環境経営システムを定期的に見直し、継続的に改善していきます。

制定日 : 2014年10月1日
最終改定日 : 2020年11月16日



東北警備保障株式会社

代表取締役 武田誠一郎



2. 組織の概要

2-1. 事業所名及び代表者氏名

- 東北警備保障株式会社
- 代表取締役 武田 誠一郎

2-2. 所在地

- 本社：〒992-0119 山形県米沢市アルカディア1丁目808番地17

2-3. 環境管理責任者及び担当者連絡先

- 環境管理責任者 漆山 裕
- 連絡担当者 遠藤 智広
- 連絡先：TEL 0238 - 29 - 0005 FAX 0238 - 29 - 0015
- Email：tomohiro_endo@next-alert.co.jp

2-4. 設立年月日

- 1972年（昭和47年）2月26日

2-5. 資本金

- 1,000万円

2-6. 事業活動の内容と対象サイト （認証・登録範囲）

- 事業活動：全活動
交通誘導及び雑踏警備に関する業務，建物及び設備の警備・保守・清掃等業務，指定管理業務，防犯・防災グッズ販売
- 対象組織：全組織（警備統括部門・営業事務企画統括部門・指定管理部門）
- 対象サイト：本社・指定管理施設

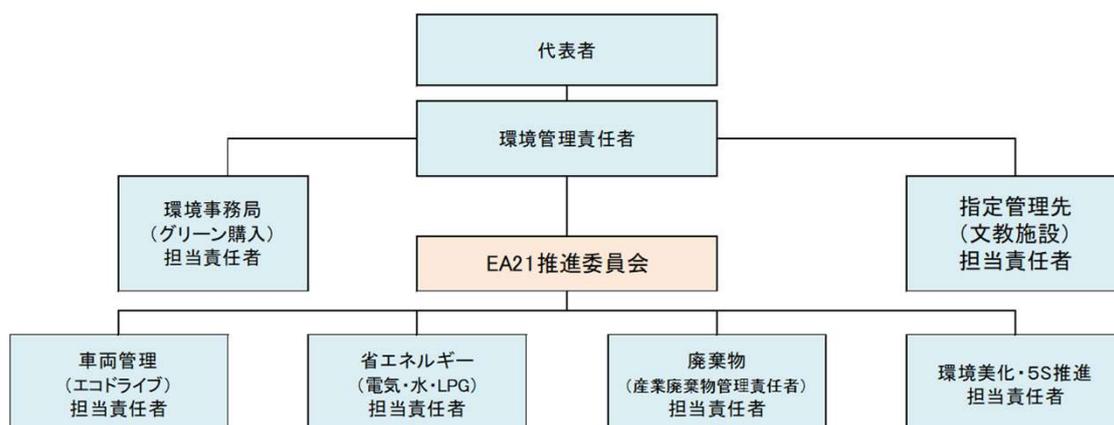


社屋全景。1階は系列会社のネクスト環境コンサルタントが使用しています。2階は事務室等で主に当社が使用しています。2021年2月に増築工事（写真左奥）が完成しました。

※対象組織は、業務受託現場に常駐する社員も含めた全社員とします。また、本社に常駐するグループ各社（ネクスト環境コンサルタント・セキュリティプレシャス）の社員にも取組への協力を求めることとします。

※対象サイトについては、本社ならびに指定管理施設とします。ただし、指定管理施設における取組については、その契約内容に応じて、可能な範囲で行うこととします。

2-7. エコアクション21実施体制



2-8. 事業の規模

活動規模	単位	2020年度 (2019.10～ 2020.9)	2021年度 (2020.10～ 2021.9)	2022年度 (2021.10～ 2022.9)	2023年度 (2022.10～ 2023.9)	2024年度 (2023.10～ 2024.9)
売上高	千円	395,701	411,135	439,707	474,961	536,000
従業員(対象/全体)	人	76	85	96	93	95
床面積(1, 2階合計)	m ²	350.0	601.8			
床面積(2階部分)	m ²	172.2	299.5			

※売上高は、当社会計年度(10～9月)に合わせて集計。また、従業員数は各年度10月1日時点での在籍人数(短時間労働者を0.5人で計算)。



3. 環境経営目標とその実績

3-1. 環境負荷の現状(2024年度環境負荷自己チェック結果より)

■ 二酸化炭素排出量

※電力使用に係る二酸化炭素排出係数については、東北電力の2022(R4)年度実績値(調整後)0.471kg-CO₂/kWhを用いています。

※電力使用量については、当社が主に使用している2階スペース使用分を対象としました。なお、1階(実験室等)は系列会社であるネクスト環境コンサルタント(株)(以下「ネクスト」と略)が主に使用しています。ガソリンはすべて当社使用分です。灯油は暖房用、LPGは給湯用です。軽油は除雪機用ですので、厳密には単独使用ではありませんが、使用割合、管理主体から判断して、当社の負荷とします。なお、LPGに関しては、増改築後、ネクストと一括計量となったため、使用量が多いネクストで計上することとしました。

- 1) 当社における2024年度(2023.10～2024.9)のCO₂排出量は、合計54,452 kg-CO₂となっており、2023年度比で6.2%減少しました。これは、平均的な一般家庭約14軒分の排出量に相当します。
※2022年度1世帯あたりの平均年間排出量: 3,811 kg-CO₂(出典: 温室効果ガスインベントリオフィス)
- 2) 当社から排出されるCO₂の71%は化石燃料の使用に伴うもので、その中でもガソリンが31,834 kg-CO₂で全体の58%を占めていることが判りました。次いで、電力使用に伴うものが15,589 kg-CO₂で29%、灯油が6,457 kg-CO₂で12%となっていました。
- 3) ガソリンは、警備業務あるいは営業車両の運行に伴い消費され業務量に比例して増加します。
- 4) 月別のCO₂発生量は11月～3月の冬期間(降雪期)に多くなっています。これは、暖房用の灯油と除雪機の燃料である軽油の消費量が増加するためです。電気使用量も冬期間に増加する傾向が見られます。
- 5) 以上のことから、車両運行に伴うガソリンの消費や事務所での電気ならびに灯油使用量をいかに減らしていくかが取組の重点課題となります。

<二酸化炭素排出源(2024年度)>



<月別二酸化炭素排出量(2024年度)>



■ 廃棄物排出量

1) 一般廃棄物: ※ネクスト排出分を含む

年間の総排出量は1,012 kgとなっています。2023年度比で4%減少しました。可燃ゴミ(焼却)の排出割合が最も多く、536 kg(53%)を占めていました。以下、紙類(新聞・雑誌類等)が139kg(14%)、段ボールが232 kg(23%)、不燃ごみ(埋立)が55kg(5%)などとなっています。紙類、ダンボール、空き缶、ペットボトルは再資源化されています。

2) 産業廃棄物

本年度の産業廃棄物の排出量は309 kgで、昨年度から4.8%減少しました。機械警備契約先でのセンサー設置工事などで生じた廃プラ(配線くずなど)が200 kgと最も多く65%を占めています。同じく工事に伴う混合廃棄物は100 kgで32%を占めています。

■ 総排水量(水使用量): ※ネクスト使用分を含む

本年度は473 m³を使用し、昨年度より、4.8%減少しました。地下水等の利用はないことから、上水使用量と総排水量は等しくなります。ネクストで器具洗浄用水として使用する他は、ほぼ生活用水ですが、若干洗車にも使用しています。

■ 化学物質使用量

PRTR対象化学物質の使用はありません。

3-2. 環境経営目標(単年度・中期)と達成状況

環境経営方針との整合性を図りながら、環境負荷の自己チェック結果を踏まえ、6項目(二酸化炭素、廃棄物、水、製品・サービス関連、地域貢献対応項目)について、環境経営目標(単年度目標&3年間の中期目標)とその達成に向けた環境経営計画を策定し、取組みを行いました。達成状況は下記のとおりです。

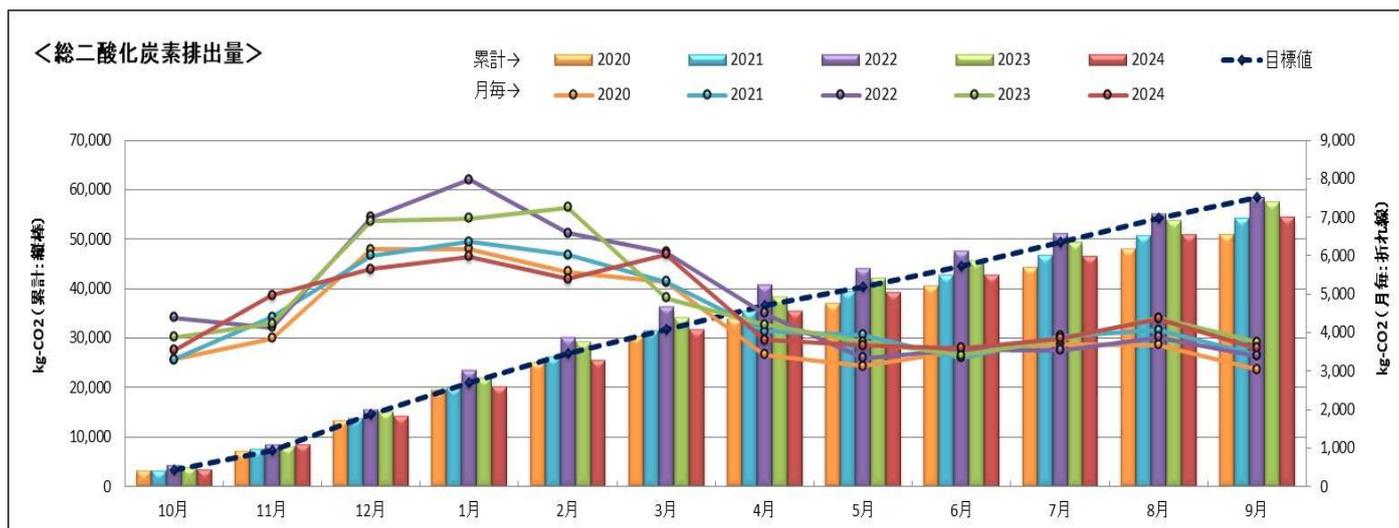
■ 総二酸化炭素排出量

【2024年度目標】 2015年度比35%削減

【中期目標(2024~2026)】 2015年度比37%削減



目標達成!



- 2015年度実績: 90,134 kg-CO₂
- 2024年度目標: 58,343 kg-CO₂
- **2024年度実績: 54,452 kg-CO₂**
- 増減量: -35,305 kg-CO₂
- **増減率: -39.3%**

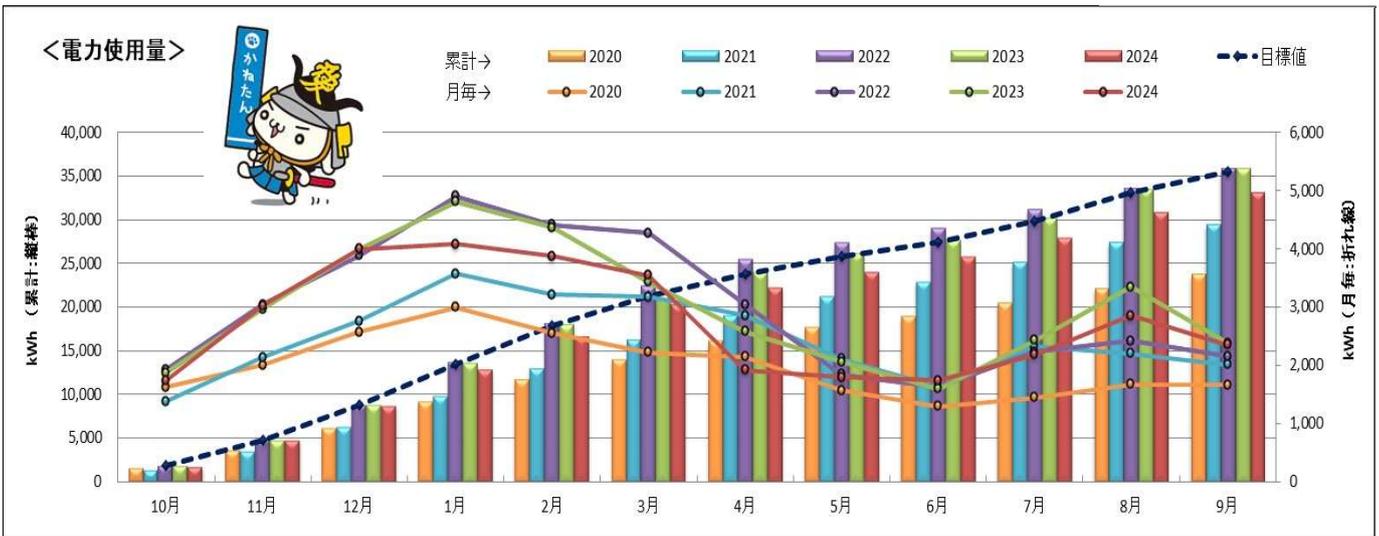
二酸化炭素排出量と連動する電力、ガソリン、軽油、灯油の要素が絡んでいます。(個別の評価は各項目のコメント欄を参照下さい)
ガソリンの使用量はほぼ昨年並みで推移したものの、2024年の冬は比較的暖冬であったため、暖房の環境負荷(電力と灯油)が減少し、全体として二酸化炭素排出量の削減に結びつきました。

電力使用量

【2024年度目標】 2023年度比1%削減
【中期目標(2024~2026)】 2023年度比3%削減



目標達成!



- 2023年度実績: 35,819 kWh
- 2024年度目標: 35,461 kWh
- **2024年度実績: 33,097 kWh**
- 増減量: -2,722 kWh
- **増減率: -7.6%**

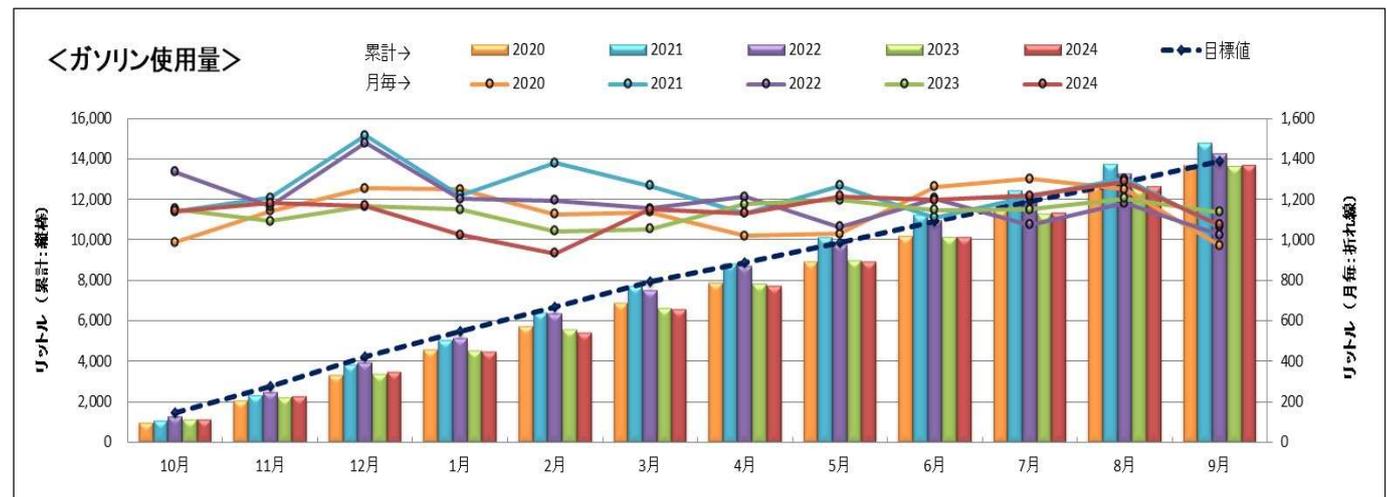
増改築後、比較的使用量が安定した2023年度実績値を基準に無理のない範囲で目標値を設定しました。2024年の冬は、比較的暖冬で推移したことから、暖房負荷に伴う環境負荷が減少したものと考えます。

ガソリン使用量

【2024年度目標】 2016年度比52%削減
【中期目標(2024~2026)】 2016年度比54%削減



目標達成!



- 2016年度実績: 28,907 ℓ
- 2024年度目標: 13,875 ℓ
- **2024年度実績: 13,722 ℓ**
- 増減量: -15,185 ℓ
- **増減率: -52.5%**

2021年度をピークに2年連続で減少し、2024年度もほぼ同じ水準で推移しました。業務での移動距離が減少していること、社員が退職し、その補充ができないため、業務車両を1台減らしたことが要因として考えられます。正直あまり喜べる状況ではありません。

■ 車両燃費向上

【2024年度目標】 2023年度比2%向上
【中期目標(2024~2026)】 2023年度比4%向上



目標未達...



■ 2023年度実績: 13.2 km/ℓ
 ■ 2024年度目標: 13.5 km/ℓ
 ■ **2024年度実績: 13.1 km/ℓ**
 ■ **向上率: -3.0% (低下)**

部門別にみると機動が12.4km/ℓ, 工事・営業が14.8km/ℓと差があることが分かりました。機動部門の車両は4駆であること, また, 厳寒期や夏季の待機時間のアイドリング時間が多く, どうしても燃費が悪くなってしまいがちです。社員の健康管理面からもアイドリングストップを強いることもできないことから, 次年度以降, 両者の目標値を分けて設定することとします。

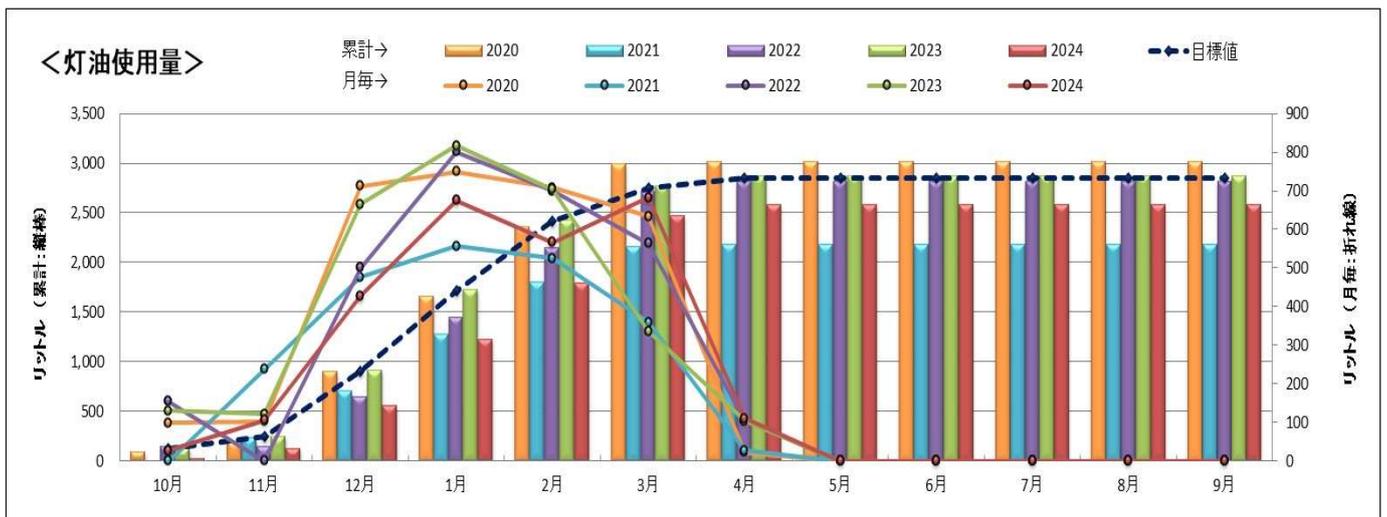


■ 灯油使用量

【2024年度目標】 2023年度比1%削減
【中期目標(2024~2026)】 2023年度比3%削減



目標達成!

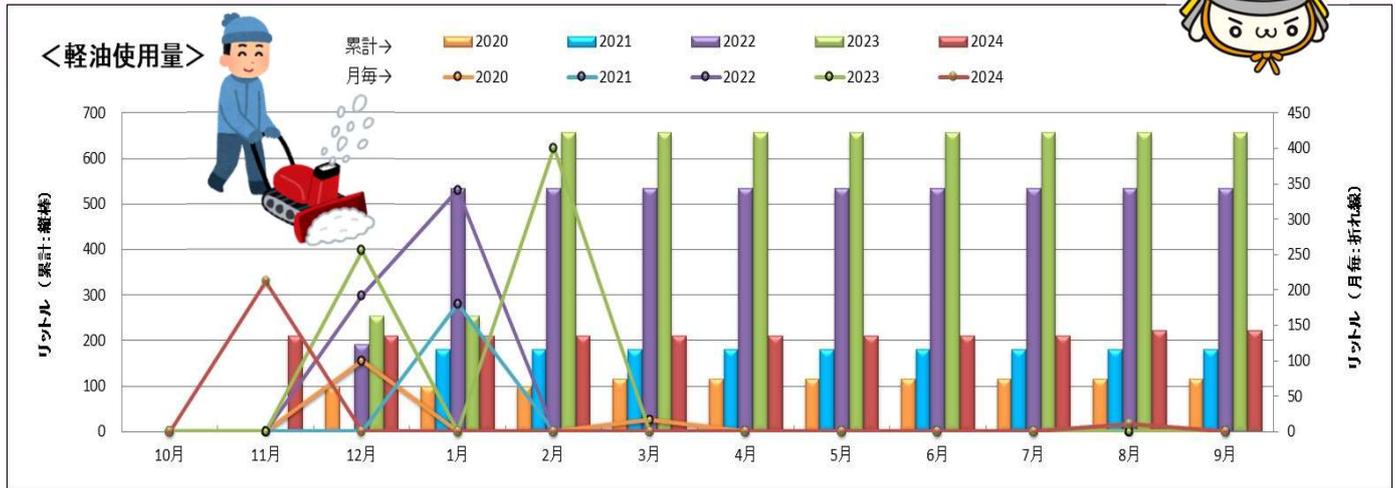


■ 2023年度実績: 2,878 ℓ
 ■ 2024年度目標: 2,849 ℓ
 ■ **2024年度実績: 2,593 ℓ**
 ■ 増減量: -285 ℓ
 ■ **増減率: -9.9%**

暖冬の影響に加え, ペレットストーブの使用により灯油使用量を減らすことができました。その年の気温の状況に左右されますが, できる限り, ペレットストーブの使用割合を増やし, 灯油の使用量を抑えていきたいと思います。



軽油使用量



■ 2014年度実績: 1,888 ℓ
■ 2024年度実績: 222 ℓ

除雪機の燃料に使用しています。降雪量により変動するため、目標設定は行っていません。2024年度は、暖冬で、例年より積雪は少なめでした。除雪業務の契約先自体は増えているので、今後の積雪状況によっては、使用量が増加する可能性があります。

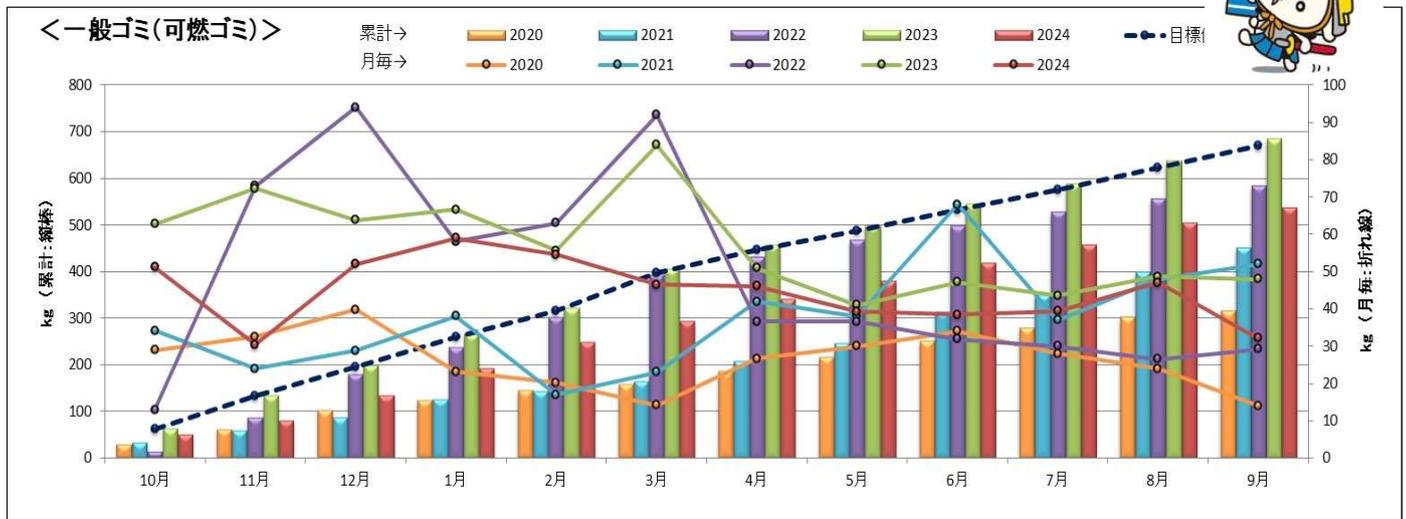


一般廃棄物排出量(可燃ごみ)

【2024年度目標】2023年度比2%削減
【中期目標(2024~2026)】2022年度比6%削減



目標達成!



■ 2023年度実績: 685 kg
■ 2024年度目標: 671 kg
■ 2024年度実績: 536 kg
■ 増減量: -149 kg
■ 増減率: -22 %

ネクストで排出した分も含まれています。昨年度まで増加傾向が続いていましたがようやく減少に転じました。今後も分別の徹底やペーパーレス化の取り組みを一層強化し、さらなる削減を目指します。

産業廃棄物排出量(対象:混合廃棄物)

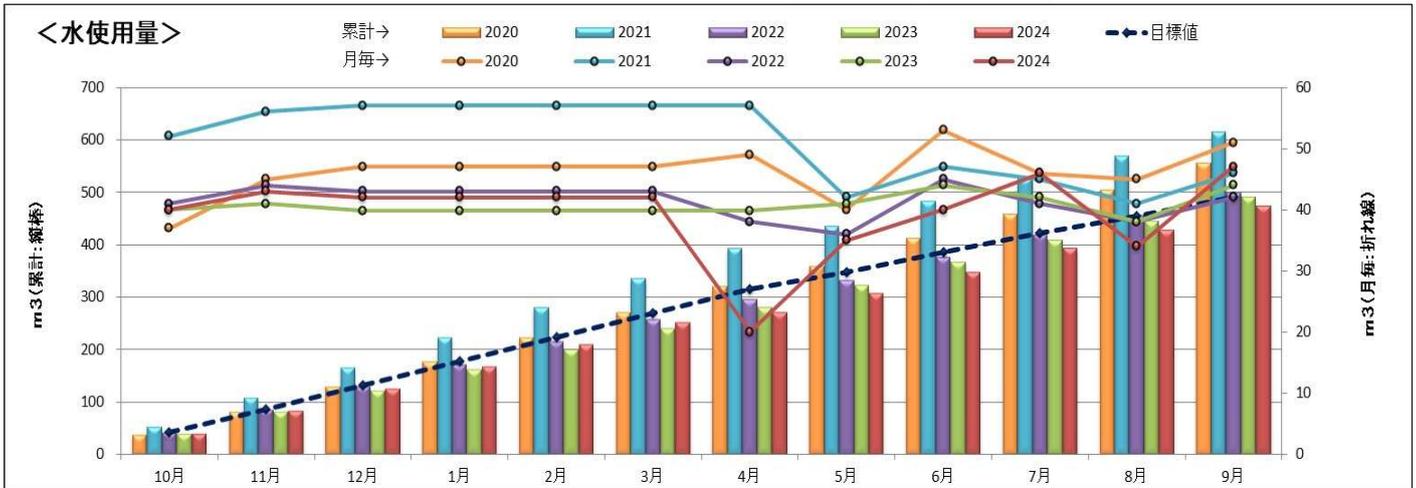
■ 2024年度目標: 設定しない
■ 2024年度実績: 100 kg

客先での工事の際に排出するものがほとんどであり、事実上管理削減するのは難しい状況です。目標の設定はせず、分別収集の取り組みを行っていきます。今期は、混合廃棄物を100 kg排出しました。昨年度(210kg)に比して大幅に減少しました。

■ 総排水量(水使用量)

【2024年度目標】 2021年度比20%削減を維持

【中期目標(2024~2026)】 同上



- 2021年度実績:614 m³
- 2024年度目標:491 m³
- 2024年度実績:473 m³
- 増減量:-141 m³
- 増減率:-23.0%

ネクストで使用量した分と合算での評価となっています。
 ネクストでの業務量が増えていること、また、増員しているため、使用量の増加が予想されていましたが、ここ数年は落ち着いた状況で推移しています。節水型のトイレやシャワー型節水ノズルの導入などの効果も考えられます。

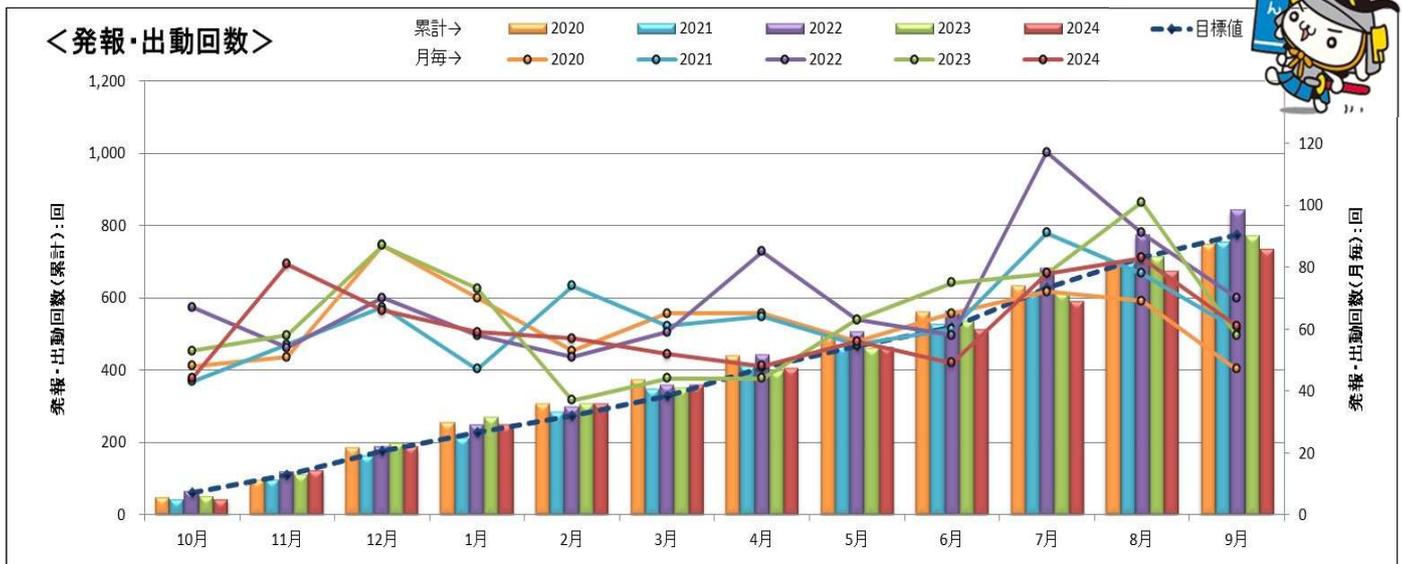


■ 製品・サービス関連

1) 誤作動による出動回数の削減

【2024年度目標】 2022年度比8%削減

【中期目標(2024~2026)】 2022年度比10%削減



- 2022年度実績:843 回
- 2024年度目標:776 回
- 2024年度実績:734 回
- 増減量:-109 回
- 増減率:-12.9%

毎年夏場に発報回数が増加するのは、虫の飛来等によるセンサーの誤動作が大きな要因となっています。本年度は、センサーの角度調整、早めのメンテナンスにより、出動回数を減少させることができました。今年は、夏場、羽虫よりもカメムシの発生の方が多かったことも異常発報減少の要因になったかもしれません。



2) 社内報(東警だより)の発行

社員のみならず、お客様にも様々な環境情報を発信していきます。

年4回季節ごとに社内報「東警だより」を発行しています。現場に常駐する社員が多いことから、今後とも社内報や警備業法による教育の機会を活用し、環境コミュニケーションならびに情報の共有化を図っていきます。

社内報に掲載された記事をご紹介します。



東警だより
令和5年・2023年
秋号
vol.35

エコアクション21

一步進んだエコ活動がしたい！
すぐできるエコ活動とは？

今すぐできるのは、周りの人に伝える事！
マイバックやマイボトルを持ち歩くなど、小さなアクションですがこうした行動の積み重ねが「気付き」として伝わり、周りの人に刺激を与えて、その輪を広げることができます。無理せず持続可能なちょっとしたアクションでもエコ活動に繋がってきます。

東警だより
令和6年・2024年
冬号
vol.36

エコアクション21

EA21の認証を取得してから、間もなく10年がたとうとしています。これを機に過去10年間の二酸化炭素排出量の推移をまとめてみました。最大排出年となった2015年に比べて、2023年(2022.10~2023.9)は36%減少しています。2018、2019年とガソリン排出量が大きく減少しているのは分社化の影響で所管する車の台数減少が大きな要因です。低燃費車への更新やエコドライブの浸透といった効果も、もちろん入っていると思います。

一方、電気の使用量は徐々に増加傾向です。ただ、2022年度以降、増改築によって床面積が大幅に増加しましたが、その割に増加率は少ないとも言えます。これからの世の中、今までのように「CO2出し放題」という訳には行かなくなっていくことは間違いありません。快適で、効率よく仕事ができる環境を維持しつつ、地球温暖化阻止に向けて「無駄なエネルギーは絶対使わない」という意識を持ち続けていきたいです。

過去10年間の二酸化炭素排出量の推移

年	電力	ガス	灯油	石炭
2014	10,000	20,000	10,000	5,000
2015	15,000	30,000	15,000	10,000
2016	12,000	25,000	12,000	8,000
2017	10,000	20,000	10,000	5,000
2018	8,000	15,000	8,000	3,000
2019	7,000	12,000	7,000	2,000
2020	6,000	10,000	6,000	1,500
2021	5,000	8,000	5,000	1,000
2022	4,000	6,000	4,000	700
2023	3,000	4,000	3,000	500

東警だより
令和6年・2024年
春号
vol.37

エコアクション21

~周辺ゴミ拾い実施~

4月15日(月)エコアクション21活動の一環として会社周辺の清掃活動を行いました。約半年ぶりの実施ですが、まず驚いたのがゴミの多さでした。特に多かったのが空き缶や空ペットボトルでした。また、タバコの吸い殻やお菓子の袋など小さなものが草むらに隠れていて見つけるのにも苦労しました。清掃が終わり、いっぱいになったゴミ袋を見て達成感を感じるとともに、今後も継続して活動し地域の環境をより良くしていきたいと改めて感じました。

東警だより
令和6年・2024年
夏号
vol.38

エコアクション21

省エネ ~ちょっとエコな話~

エアコン冷房の電気代を節約するには、「自動運転」でつけっぱなしが正解！
エアコンの「自動運転」モードは一気に設定温度まで室温を下げ、その後は微弱運転や送風運転で室内温度を保ちます。短時間で設定温度にするため、無駄な電気代がかからないようになっています。だから、こまめにオンオフをしないで「自動運転」でつけっぱなしにしておいたほうが電気代を節約できるそうです。

■ 地域環境保全活動

1) 環境保護団体への協力

山形県と山形県地球温暖化防止推進センターが進める「山形県地球温暖化対策推進事業所」に登録しています。



2) 会社周辺の清掃・美化活動(ごみ拾い・みどりのカーテン等)

年2回、会社周辺の草取りとごみ拾いを実施しています。また、南側の窓には、毎年「みどりのカーテン」を植栽しています。



4. 環境経営計画と取組結果並びに次年度取組内容

4-1. 2024年度(2023年10月～2024年9月)環境経営計画と取組結果

<評価判定の目安>

○…実施済。80%以上の社員が取組んでいる。80点以上の満足度である。

△…一部未実施。50～80%の社員が取組んでいる。50～80点ぐらいの満足度である。

×…未実施。50%未満の社員しか取組んでいない。50点未満の満足度である。(是正処置の対象)

環境目標	活動・取組項目	活動の具体的内容 (どのように)	実施時期 (いつまでに)	場所・対象者 (どこで)	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月	備考、是正処置の必要性等	
二酸化炭素排出量の削減	■消費電力の削減	■室温は、暖房期20℃、冷房期28℃で管理	冷暖房期間	事務所等	○	○	○	○	随時、温度計でチェック	
		■サーキュレーターを稼働させ、室内温度差をなくす	冷暖房期間	事務所等	○	○	○	○	気づいたらつける	
		■使用していない部屋のエアコンはOFF	冷暖房期間	事務所等	○	○	○	○	気づいたら消す	
		■定期的エアコンのフィルターの清掃と点検	11・2・5・8月	事務所等	○	○	○	○	スケジュール表で管理	
		■不要な照明は消灯	通年	事務所等	○	○	○	○	気づいたら消す	
		■クールビズの推進(機能性下着の着用)	夏期	全社員	△	△	○	○	スケジュール表で管理	
		■ウォームビズの推進(保温性の高い下着の着用)	冬期間	全社員	○	○	△	△	朝礼等で声かけ	
		■パソコンは省エネモードで使用	通年	事務所等	○	○	○	○	3ヶ月ごとに設定をチェック	
		■トイレの暖房便座は夏期OFF(温水の温度設定は「低」)	夏期(通年)	トイレ	○	○	○	○	随時設定をチェック	
		■「見える化」の推進(電力使用量等の掲示)	毎月	事務所等	○	○	○	○	更新時朝礼等で周知	
	■ガソリン・軽油使用量の削減 ※製品・サービス関連目標	■エコドライブの教育研修		1月	運転者全員	○	○	○	○	スケジュール表で管理
		■エコドライブ自己評価を実施(チェック表による)		10, 1, 4, 7月	運転者全員	○	○	○	○	チェック表の回収・記録
		■燃費・走行距離の把握(車両日報の記入)		通年	運転者全員	○	○	○	○	記載状況の確認
		■5000km(6ヶ月)ごとにオイル交換、10000km(1年)ごとにエレメント交換(ハイブリッド車は別途規定する)		通年	車両	○	○	○	○	伝票と車両日報
		■適切な時期でのタイヤ交換		4月・11月	車両管理者	○	△	○	△	車両日報
■適切な空気圧の維持			通年	車両管理者	○	○	○	○	車両日報	
■エコタイヤの導入			通年	業務管理者	○	-	○	-	車両日報	
■その他化石燃料の削減(軽油・灯油・LPG)	■不要な荷物を乗せたままにしない		通年	車両管理者	○	○	○	○	定期的な確認	
	■業務の効率化(車両運行ルート管理)		通年	業務管理者	○	○	○	○	朝礼等で確認	
	■計画的な低燃費車両への入れ替え		5カ年計画	全車両	-	-	-	-	代表者による見直しの記録	
	■除雪機の運転条件の設定(積雪量等)		降雪期	業務管理者	○	○	-	-	推進委員会で報告	
	■ファンヒーターは厳寒期に区切られたエリアでのみ使用する		冬期間	事務所	○	○	-	-	随時声かけ	
の削減と適正管理	■一般廃棄物の削減(リサイクルの推進)	■ファンヒーターは補助的に使用し、エアコン、ヘルストープを優先する	冬期間	事務所	○	○	-	-	随時声かけ	
		■必要最低限の温度で給湯(夏期は使用しない)	通年	流し台	○	○	○	○	随時設定をチェック	
		■分別状況の確認	随時	事務所等	○	○	○	-	分別ルール(掲示物)作成	
		■廃棄物置場の整理整頓	通年	廃棄物置場	○	○	○	○	定期的な確認	
		■不要な資料・カタログ等の辞退・返却	通年	全社員	○	○	○	○	適宜声かけ	
	■産業廃棄物の適正管理	■コピー用紙削減(両面コピー・裏紙利用の徹底)	通年	事務所	○	○	○	○	適宜声かけ	
		■私のごみの持ち帰り(コンビニ弁当容器等)	通年	事務所	○	○	○	○	適宜声かけ	
		■一般廃棄物の排出量記録/シュレッダーごみの溶融処理	排出時	廃棄物置場	○	○	○	○	記録表をチェック	
		■社内の整理整頓	随時	社内外	○	○	○	○	随時巡回確認	
		■保管場所の管理(安全衛生状態も含む)	通年	廃棄物置場	○	○	○	○	随時巡回確認	

総排水量の削減	■水道使用量の削減	■「節水」の監視強化	通年	流し台	○	○	○	○	NEXTと共同で実施
		■掲示物の更新	随時	流し台・トイレ	○	○	○	○	NEXTと共同で実施
グリーン購入	■グリーン購入	■グリーン購入ネットワーク(GPN)認定品(エコ商品)の選定	物品購入時	事務所	○	○	○	○	随時情報収集
		■事務消耗品のエコ商品購入率の把握	3ヶ月ごと	事務所	○	○	○	○	3ヶ月毎にデータ収集
		■車両・設備・機械等購入時のルール確立と実践	購入時		○	○	○	○	EA21推進委員会で報告
製品自主設定項目(連)	■環境情報の発信と情報の共有化(社内報の発行等)	■情報の収集・原稿等の依頼(社内・社外)	随時		○	○	○	○	朝礼・ミーティング時を活用
		■社内報の発行	年4回(10,1,4,7月)		○	○	○	○	スケジュール表で管理
		■自社HP等の更新	随時		○	-	-	-	EA21推進委員会で報告
	■誤作動による出勤回数の削減	■過去の異常発信データの解析と原因分析	通年		○	○	○	○	EA21推進委員会で報告
		■改善策の検討と実施	通年		○	○	○	○	EA22推進委員会で報告
		■計画的なセンサー交換	通年		○	○	○	○	EA23推進委員会で報告
地域貢献活動	■環境保護団体への協力	■「NPO環境ネットやまがた」の支援・協力	通年	事務所	○	○	○	○	「家庭のアクション」への参加
	■会社周辺の清掃活動	■周辺道路のごみ拾い、草刈りなどの実施	年2(冬季間無)	会社周辺	○	-	○	-	環境コミュニケーション記録
	■敷地内緑化の推進	■フラワーポットに花を植える	年3回	会社敷地内	-	-	○	-	環境コミュニケーション記録
	■バイオマスの活用	■ペレットストーブの活用	冬期間	事務室	○	○	-	-	
備考	【是正のルール】「×」は即是正、「△」は3回連続で是正とする。その他、環境管理責任者の判断によって、是正処置を実施する。								

【環境経営計画取組状況の総括】

2015年8月の認証登録以来、エコアクション21の取組みも10年が経過し、設定した環境経営計画の取組みは、社員にほぼ定着し、当たり前のことになっています。裏を返せば、マンネリ化しているとも言えます。また、現在の取組み内容では、残念ながら、環境負荷(二酸化炭素)の削減という結果には、必ずしもつながっていないというのが現状と言わざるを得ません。

「脱炭素化」、「RE100」などの「世の中の流れ」を意識しながら、もっとも環境負荷の大きいガソリンの消費量を削減すべく、計画的にEVあるいはPHEV等へのシフトを進めていく必要があると感じています。また、マンネリ化を打破すべく、社員からの「新しく、効果的で、楽しい」取組みの提案を期待します。

4-2. 次年度の環境経営目標と環境経営計画の概要

■ 環境経営目標

- 1) 2024年度の取組み結果を踏まえ、現実的に達成可能なレベルで目標設定を行い、モチベーションを下げることなく、継続した取組みを推進していきます。
- 2) 各目標項目について、SDGs(持続可能な開発目標)と関連付けて、取組みの推進を図っていきます。
- 3) 総二酸化炭素排出量については、これ以上の削減がなかなか難しい状況になってきていることから、経営環境を見据えながら、助成金の活用などを視野に入れ、直接CO₂の削減につながるような設備投資を計画的に行っていきます。

■ 環境経営計画

- 1) SDGsに関する教育を実施し、取組みを推進していきます。
- 2) 些事(些細なこと)の積み重ねを大切にしていきます。
- 3) 誤発報による出勤回数の削減に向けた取組みを推進します。
- 4) 社員の改善提案による取組みを積極的に採用していきます。



ECO
エコアクション21
今年も活動中!





5. 環境関連法規等の順守状況，訴訟等の有無

5-1. 適用を受ける環境関連法規等とその順守状況

当社に適用される主な環境関連法規について、2024年6月1日付で順守状況を確認した結果、下記のとおり、順守状況に問題点はありませんでした。

- 米沢市火災予防条例：敷地北側に設置してある軽油タンクが少量危険物貯蔵所に該当しますが届出も行われており、漏えい事故等の発生はありませんでした。
- 廃棄物処理法：マニフェスト、契約書の管理は問題ありません。また、マニフェスト発行実績の報告も実施済みです。なお、県外の中間処理・最終処分業者については、HPならびに産廃情報ネット等によって、情報を収集することとします。
- フロン排出抑制法：事務所に設置しているエアコンについて、簡易点検を実施しています。
- 自動車リサイクル法：業者に依頼し、適切に廃車処理をおこなっています。

5-2. 訴訟等の有無

環境面での訴訟，行政処分等は，創業以来，一度もありません。また，外部からの環境に関する苦情は，過去3年間ありません。



6. 代表者による全体の評価と見直し・指示の結果

二酸化炭素排出量削減を目的とした狭義のマネジメントシステムで見れば、削減実績から見ても、あまり有効に機能しているとは言えないと思います。しかし、「企業価値の向上」を目的とした広い意味でのマネジメントシステムでの有効性であれば、その取組みの価値は大いに評価してもよいと思っています。

世の流れとして、近い将来、今までのように自由に二酸化炭素を排出できない世の中になることは間違いありません。そのときは、その流れにしたがって行くしかありません。それはそれとして、従業員のモチベーションアップにつながるような、かつ、楽しく、前向きに取り組めるような活動を展開して行くべきであると思っています。経営上の課題とチャンスとを踏まえて、SDGs、働き方改革、健康経営など、視野を広げ、企業価値の向上につながるような取組みをさらに推進していく所存です。



2024年11月12日

代表取締役 武田 誠一郎

<EA21環境経営システム変更の必要性和主な変更内容>

- 環境経営方針：変更せず
- 環境経営目標：2024年度の実績を踏まえ、達成可能なレベルで設定すること
- 環境経営計画：基本的に継続でよいが、従業員から良い提案などがあれば、適宜追加すること。
- 実施体制：継続
- 環境経営システム全般：変更はない。

その他の環境活動

「東警だより」より

緊急事態の訓練



避難訓練を実施しました。

6月28日東北警備保障本社にてネクスト環境コンサルタントと合同で避難訓練を実施しました。火災等の災害発生時における初期消火、避難、通報訓練を実施することにより、防火意識の普及を図るとともに社員が緊急時の実践能力を身につけることを目的とした訓練でした。避難訓練は年1回実施しており、今回は2階給湯室から火災が発生したことを想定し火災発見、初期消火、消防通報、避難誘導・避難、避難人員確認の訓練を実施。それぞれ役割を確認しながら真剣に行っている姿が見られ良い訓練でした。終了後には水消火器を使用した消火訓練も行いました。いつ災害が発生しても、迅速かつ的確な行動ができるよう今後も継続して訓練に取り組んでいきたいと思えます。

2024年度は、ネクストと合同で、火災訓練を実施しました。

毎年、緑のカーテンを植栽しています。



環境教育

現任教育実施について

この度3月25日・28日・29日の3日間、会場を長井市置賜生涯学習プラザおよびアクティ一米沢の2会場に分けて定例の警備員現任教育を実施しました。この教育は警備業法に則り、法律上実施を定められたものです。しかし、ただ法律で決まっているから実施するというだけでは何も身につけません。日々の業務に活かすことが出来かつ自分で考えることができる場として弊社は本教育を活用しています。

一部内容をご紹介しますと、「鍵の保管管理・施錠の重要性」について取り上げています。施錠は侵入者に対する最大の物理的防御手段に他なりません。またその確認のため巡回見回りも実施しております。施錠確認は警備員にとっては基本スキルの一つではありますが、そのことを再確認することにより意識の向上に繋がっています。このような教育や訓練等を通し、隊員1人1人研鑽を積み重ね、お客様の安心安全につながるよう全力で努力して参ります。



警備業法に基づく現任教育に合わせ、環境教育も実施しています。

地域に愛されて52年
東北警備保障株式会社
 〒992-0119 山形県米沢市アルカディア1丁目808-17
 TEL 0238-29-0005 FAX 0238-29-0015
 ホームページ <https://www.next-alert.co.jp>




お客様の「大切」を「私達」に「大切」に

エコアクション21 認定番号 0010767

<アクセス>



かわたん

米沢市マスコット
キャラクター

環境経営レポートを読んでいただき、おしおしな（ありがとう）！ぜひ、米沢においで下さい。お待ちしております。



おせんちゃん

米沢市マスコット
キャラクター

この環境活動レポートは、ご希望の方に差し上げています。
ご希望の方は、弊社窓口でお申し出いただくか、下記宛ご連絡下さい。
また、当社HP (<http://www.next-alert.co.jp>)、エコアクション21
中央事務局のHP (<http://www.ea21.jp>) でもご覧いただけます。

〒992-011 山形県米沢市アルカディア1丁目808番地17
東北警備保障株式会社

TEL0238-29-0005 FAX0238-29-0015